

8月の子育て支援センターだより



(ドライブラワーにしてみませんか?)

暑中お見舞い申し上げます

7月の七夕
大崎自治会・育成会
の皆さん、七夕飾りを
おかげさまでいっしょに

梅雨明けと同時に、「10年に一度の暑さ」が続いています。センターの度に新しい遊具 ロッキンホニーちゃんがい仲間入りしました。それなのに・・・の熱中症警戒レベルが危険値に達して、連日庭遊びができません。子どもの背の高さの熱中症計が、とんでもない値になっています。センター屋内や日陰の水遊び時も、水分補給をしながら、ゆったりと遊んでください。そして、子どもの体と脳の休息(お昼寝と睡眠)も、しっかりとって夏を乗り切りたいですね。皆さんが、健やかに、楽しい夏を、ご家族で過ごせますように♡



8月のわらべうた

ふねのせんどうさん



♪ ふねのせんどうさん のせとくれ
あ〜 きうことん きうことん
きょうはあんなみ のせられぬ
あ〜 きうことん きうことん

よちよちの日

梅雨が明け、太陽のまぶしい夏がやってきました。夏にかかりやすい感染症があります。体が疲れていると病気に感染しやすくなるので、生活リズムを整え、免疫力を高めて、手洗い、うがいも忘れずに暑い夏を元気に過ごしましょう!

8月のよちよちは、お散歩はおやすみにして、多目的ホールでの活動を行います。リズム遊びや、触れ合い遊び、サーキット遊びをして、丈夫な体を作りましょう!

♪きめりができた〜♪
親子でニコニコ笑顔です

♪雑巾がけ!とってもし
上手になりました



ネジバナ

あかちゃんの日

梅雨もあけ おひさまがまぶしい季節となりました センターでは 水遊びが始まり元気な声が響いています

さて 7月は『夏を感じて!』と題しておかあさんとあかちゃんに 夏らしい装いや物事を聞いてみました

甚平・浴衣・すいか柄の服・ひまわりのヘアピン 麦茶・アイス・すいか・かき氷・花火・虫とり・・・ などなど 楽しい事盛りだくさん!

あかちゃんもたくさん体を動かし たくさん食べて お昼寝もして 暑い夏をのりこえましょう



予約をして参加して下さいね!一緒に遊びましょう♡

～少し大きな赤ちゃんの日～



多目的ホールで、サーキット遊びをしながら、フリータイムで親子同士で楽しい時間。子ども達が近寄り、お母さんも、和気あいあいとおしゃべりタイムです。



水遊び用ジョーロも牛乳パックで作りました。お母さんの製作に子ども達も協力、待っていました。

- 7月のこあら講座で 今井先生より ほう運動あそびを楽しく教えてもらいました。たくさんハイハイをして 筋力をつけていきましたね。
- 生活習慣のリズムを整えるなかで、早寝、早起きは子どもにとっていいことがたくさんあります。乳幼児期にちょっと争いかけ “早く寝かしつけ”をして、早寝早起きの習慣をつけて、意欲的で、病気に強い子に 育ていけるといいですね。 「ひまり通信」参考

～のびのびの日～



3月に植えたじゃがいも、むき芋(金)に雨降りの中13組の親子が、手を泥んこにしてがら掘ってくれました。



じゃがいもは、当日みんぱにおすも分け出来ました。全てに関わることは難しいと思いますが、出来る時に出来るようなことを、みんぱと一緒に楽しんでやらせて嬉しいです。

センターの庭の畑見たことありますか？色々の野菜が育っています。これも親子が苗植えをしてくれて、今みんぱにおすも分けしています。おすも分けてお福分付とも言うゆですよ。

8月の行事は、お盆に向けての精霊馬作りです。命のつながりにお水触れてみませんか？

キッズキラキラ☆ツツミビョウモンの家

水の心地よさにどっぷり浸る

「水は心地いい」という生命的な水の経験を大切にしたいものです。その時、大人は危険がないか監視しているだけでなく、時には同じ体験をして、心地よい感じも分かち合おうと子どもも安心して、どっぷり楽しむことができるでしょう。水遊びの際は、大人も水に触れて楽しんで！



水へのつながりの豊かさをを感じる

遊び場やプールなどと遊ぶことを重ねていると、水というものは便利に蛇口から出てきて、遊ぶためにあるものだと感じてしまうかも。その延長線上には川があり、山があります。



その近くでは鳥たちが水浴びしたり、アリカハエの仲間が雨のしずくを舐めたり... センターの田んぼの水にも、おたまじやくしがいたり、ハチが水玉のみに乗ったり... 水は全の世界になんとなくつながっています。

乳幼児の水との出会いは、ほんやり、なんとなくつながる

水はコントロールできない

蛇口から出る水は止めることができるけれど、思い通りに行かない水もなんとなく感じるで構わないので、幼い時にからだで感じてほしいです。雨が突然降って濡れてしまったり、川の流水を見て怖くなったり... 水は心地いいけれど、時として不快や怖さもある反面もなんとなく体験していきます。

水の循環とともに生きる

センターの手洗場によく小さい子どもたちがつかまり立ちをしています。排水口に流れる水をながめた手でパチパチして、顔にかかった水に驚いたり。「手を洗った水は、どこに行くの？」と考えている訳ではないと思いますが、ゆくゆくは、この水の「来るところ」「行くところ」を探し始めます。なんとなくいいので、小さいうちから感じておくと、その先につながっていきます。



げんき198 「森の川」川崎 参考